

2018年4月3日 (火) 晴

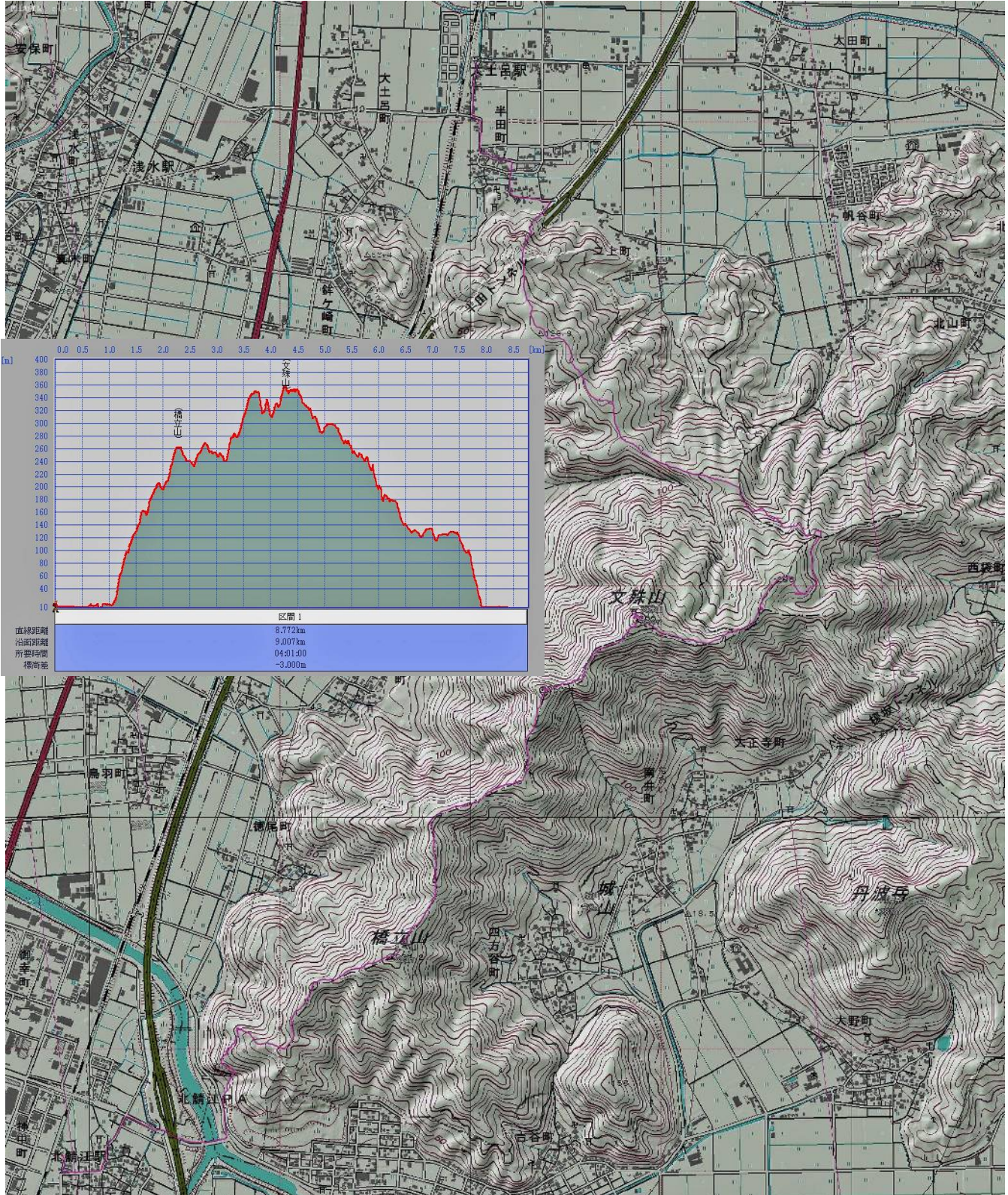
越前「文殊山」

単独行

コース距離： 9.0 km、 所要時間： 4時間01分 (休憩含む)

コースタイム： 北鯖江(9:49)→(10:04)酒清水登山口→(10:49)橋立山→
(11:32)奥の院→(11:55)文殊山【食事休憩】(12:28)→(12:45)小文殊山
→(13:08)分岐→(13:38)半田登山口→(13:50)大土呂

*山行軌跡 と 行程グラフ



山行記 北鯖江駅に降り立ち駅前で登山準備をして9時49分に酒清水を目指し歩き出し浅瀬川の橋を渡り左に進んで行くと酒清水の水くみ場に着く。

水くみ場の左側に山への道が付けられて登って行く、急登は判っていたが予想を超える急登で足元がずり下がってくる程であるがロープは使わず登って行く。

100m程登ってくると少し勾配が緩くなって花が咲いているのが目に入ってくる、登って行き駅を出て1時間で橋立山に到達する、此处からアップダウンを繰り返して行き今日初めて対向者とすれ違い奥の院に。

奥の院に三角点があり点名は「文殊山」となっている、ここから一気に30m下りまたアップダウンを繰り返し対向者1名とすれ違い文殊山に到着する、大勢の方が居られるがここまでに人に会ったのは二人だけであった。

文殊山からの眺望は方位「北西(300)から東北東(80)」が見渡せ辛うじて東北東の白山が見えるか?であるが今日は雲の中で確認は出来なく、正面方向の富士写ヶ岳から浄法寺山の残雪が有るのが見渡せた。

ガイドブックには白山が観れるとなっているが、取立山や大長山までであろうと思われ見れても年数回程度であろう。

文殊山からは小文殊山を通り大正寺に下る予定で行ったが、小文殊山ではコブシや桜が咲き誇っていて見入って先に進むと大村登山口方面しか道が無く大正寺には降りる事が出来なかった。

大村に出ると駅までが遠くなるので二上方面に向かい半田登山口が駅に近いので半田へ降りる事にする、分岐から左の尾根に入る道は細いが踏まれている登山口は神社に出ると思っていたが高速道の真横が登山口となっている、入口はゲートが有り紐で留められていた。

集落を通り抜けて大土呂駅に向かい13時50分駅に辿り着き、14時20分の電車で帰途に着く。



酒清水の給水所



酒清水の登山道



登山道で出会った花



カタクリの花

橋立山の
四等三角点





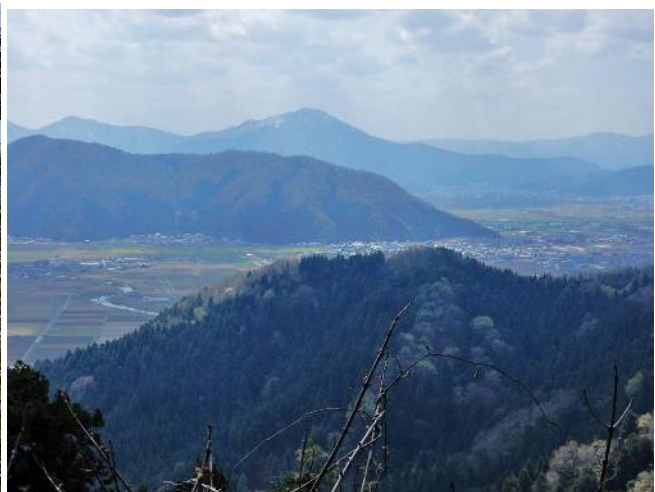
カタクリの花表側より



カタクリの花



城山 奥は 高須山方面



手前 三里山、 奥 日野山



山吹



奥の院
奥の院の三角点 (文殊山)



胎 内 潜 り



カ タ ク リ の 花



文殊山山頂



富士写ヶ岳から浄法寺山方面



文殊山からのパノラマ



カタクリの花群生地



タムシバ



小文殊山のさくら



小文殊山のさくら



ネコノメソウ



下山道で出会った花



大土路駅より
文殊山